

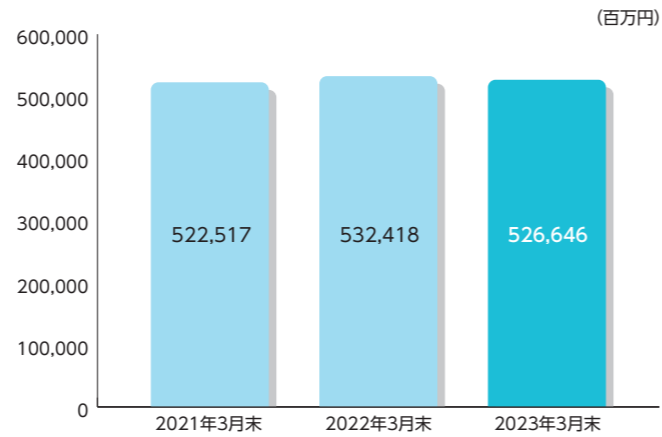
預金積金

預金積金は、個人の流動性預金は増加した一方、定期性預金の減少により、前期比57億円減少の5,266億円となりました。

2022年度

5,266億円

預金積金



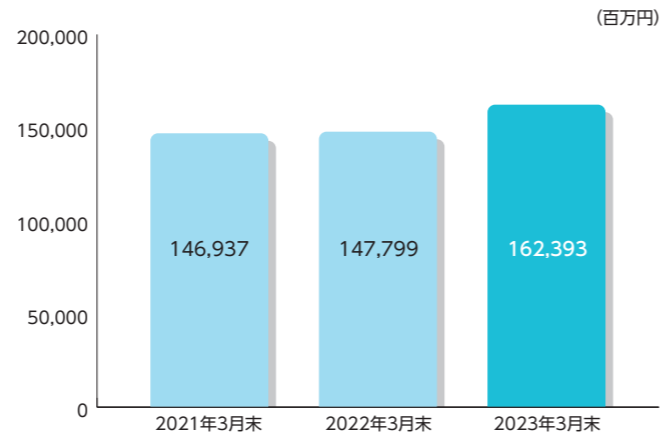
貸出金

貸出金は、課題解決に着目したご融資のご提案に加え、各種個人向けローンのご提供、地公体等向け融資の推進などにより、前期比145億円増加の1,623億円となりました。

2022年度

1,623億円

貸出金



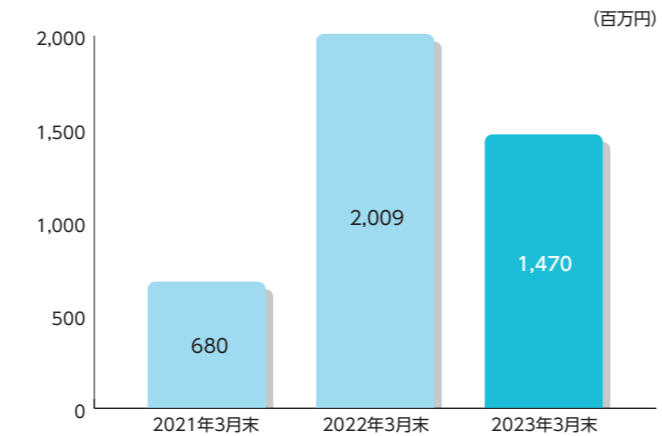
当期純利益

資金運用収益および役務取引等収益が順調に増加した一方、その他業務費用の増加等により、当期純利益は前期比539百万円減少の1,470百万円となりました。

2022年度

1,470百万円

当期純利益



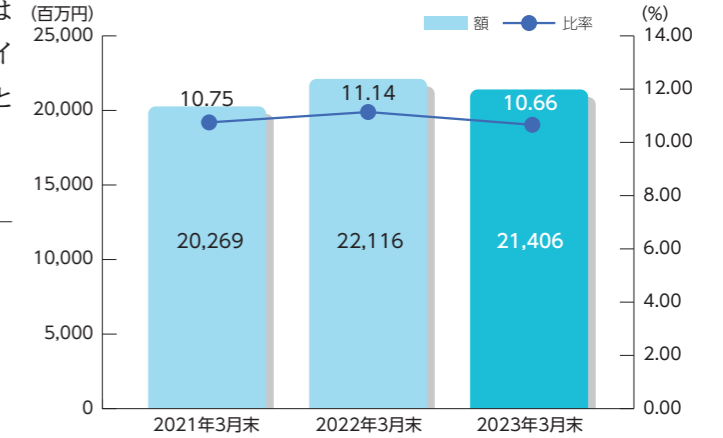
自己資本比率

当期純利益を確保する一方、優先出資2,100百万円の一部買入消却を行ったことから、自己資本額は710百万円減少し、自己資本比率は前期比0.48ポイント低下の10.66%となりましたが、健全性の目安とされる国内基準4%を大幅に上回っています。

2022年度

10.66%

自己資本



不良債権比率

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比574百万円増加の8,906百万円となりましたが、貸出金の増加等により、不良債権比率は0.15ポイント低下の5.46%となりました。

2022年度

5.46%

金融再生法開示債権

